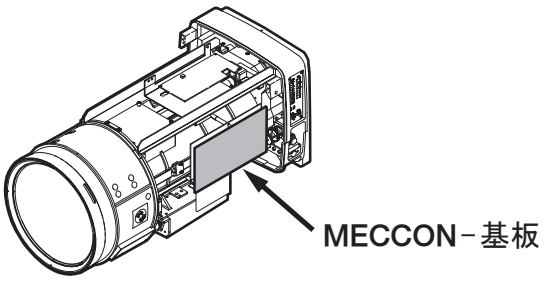
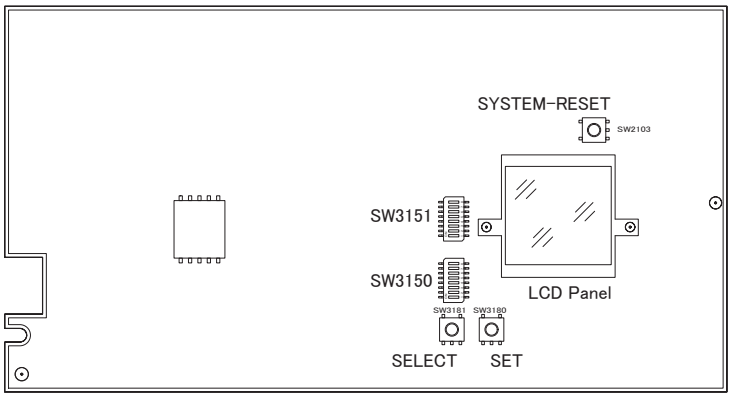
LCDパネル操作手順書

◆ 本製品では、LCDパネルを使用したメニュー操作を採用することで、従来のDIPスイッチで設定できた内容に加えて、さらに細かい設置を行うことができます。

注．基板上のDIPスイッチの設定とLCDパネル操作での設定が異なる場合、どちらかが“OFF”を設定している項目は、“OFF”の設定として動作します。
（“OFF”の設定が優先されます。）





0606
BF00022107-104

MEMO

目　次

1　メニュー操作の概要 …… 2
1.1　操作内容一覧 …… 2
1.2　各部の名称と操作 …… 5
1.3　パネル操作の手順 …… 6

2　基本的な操作の流れ …… 8
2.1　電源 ON ～ TOP 画面(STS画面) …… 8
2.2　MENU 1 画面 …… 8
2.3　MENU 2 画面 …… 8

3　TOP 画面 (STS 画面) の表示 …… 9
3.1　フォーカス (FCS) の構成状態 …… 9
3.2　ズーム (ZOM) の構成状態 …… 9
3.3　アイリス (IRS) の構成状態 …… 10
3.4　エクステンダ (EXT) の構成状態 …… 10
3.5　防振制御 (STB) の構成状態 …… 10
3.6　フランジバック (BF) の構成状態 …… 10
3.7　バックフォーカス位置 (BF-POS) の表示 …… 10

4　MENU1 画面での操作 …… 11
4.1　DIP スイッチの確認と設定 …… 11
4.2　ファームウエアの操作 …… 12
4.3　USB のモード設定 …… 13
4.4　ズームの設定 …… 14
4.5　フォーカスの設定 (フォーカスの動作特性の設定) …… 19
4.6　アイリスの設定 …… 21
4.7　エクステンダ操作設定 …… 24

5　MENU2 画面での操作 …… 25
5.1　フランジバック (バックフォーカス) 操作設定 …… 26
5.2　防振の設定 …… 27
5.3　設定値 ・ 調整値の保存と読み出し操作 …… 30
5.4　その他の操作 (表示機能の設定) …… 34

6　基板上の DIP スイッチ …… 37

1　メニュー操作の概要

1.1 操作内容一覧

LCDパネルによる、レンズの機能設定は、以下の手順で行います。

① 電源ONでトップメニューが表示される。
② STS→MENU 1 →MENU 2 の操作画面を選択する。
③ それぞれの画面に示された項目を選択してサブメニューに移動する。
④ それぞれの項目に応じた設定画面でパラメータを設定する。

LCDパネルで設定できる機能の概要を、次ページ以降に示します。

MEMO

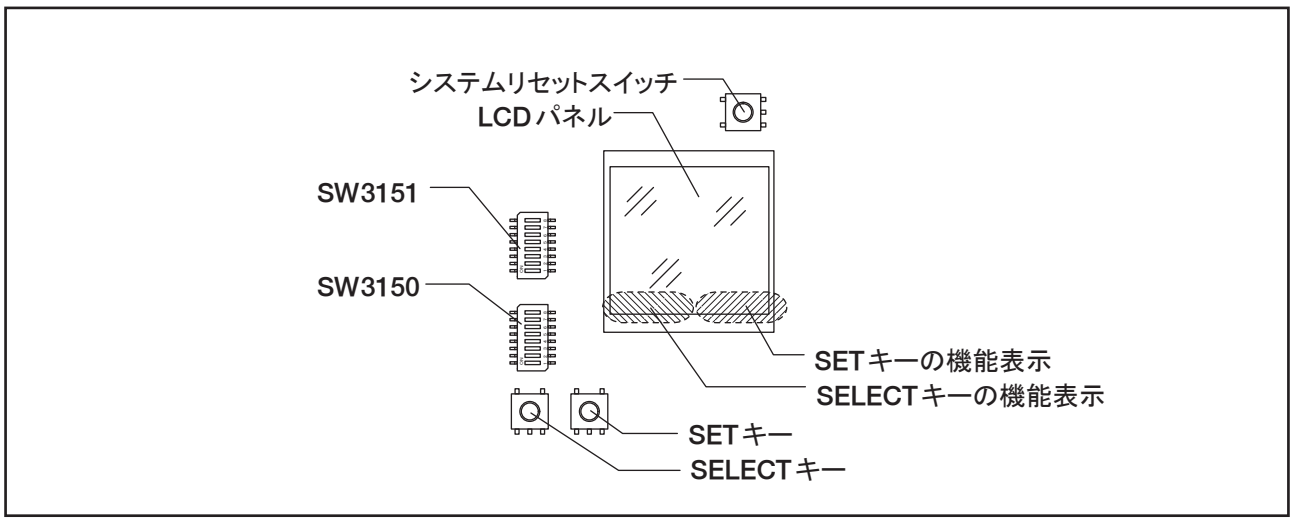
トップメニュー	選択項目	サブメニュー 1	サブメニュー 2	数値設定画面	初期値	機能説明
STS	FCS			DRIVER/CONTROL	—	フォーカスのドライバモジュールと制御ユニットの種別を表示
	ZOM			DRIVER/CONTROL	—	ズームのドライバモジュールと制御ユニットの種別を表示
	IRS			DRIVER/CONTROL	—	アイリスの駆動とコントローラの種別を表示
	EXT			—	—	エクステンダの状態を表示
	STB			DRIVER	—	防振制御方向と補正モードを表示
	BF			CONTROL	—	マスターレンズ（マクロ / バックフォーカス）の制御モードを表示
	BF-BAR			—	—	バックフォーカスの位置を表示
⇩ ▽ MENU で次画面 (MENU1) に進む						
MENU1	DIPSW(1/2)					
	*1	SW3151	BACKLIGHT	—	*5	LCD バックライト ON/OFF
	*1		TALLY-ADJUST	—	*5	タリー光量 (TALLY_LOW) 調整 ON/OFF
			RESERVE 0-6	—	*5	—
			RESERVE 0-5	—	*5	—
			RESERVE 0-4	—	*5	—
			RESERVE 0-3	—	*5	—
	*1		CAM[2]CAM[1]=	—	*5	カメラメーカー選択 *6
		⏎ RETURN で MENU1 に戻る、▽ NEXT で SW3150 に進む				
	DIPSW(2/2)					
		SW3150	RESERVE 1-8	—	*5	—
	*1		Z/F-CUSTOM	—	*5	フォーカス / ズームカスタム設定 ON/OFF
			RESERVE 1-6	—	*5	—
	*1		IRIS-CLOSE	—	*5	アイリス強制クローズ
	*1		IRIS-COMP	—	*5	アイリス補正 ON/OFF
	*1		IRIS-GAINUP	—	*5	オートアイリスゲインアップ（ON=1/8、OFF=1/16）
	*4		BCT	—	*5	画角変化補正（BCT 機能）ON/OFF
			CAMERA-SER	—	*5	カメラシリアル通信 ON/OFF
		⏎ RETURN で MENU1 に戻る、△ BACK で SW3151 に戻る				
	FW-VER	SFUP-VER		xxxxxxxxxxxx	—	ファームウエア 1 のバージョンを表示
			S-UPDATE	—	—	メンテナンス用メニュー（操作できません）
		MFUP-VER		xxxxxxxxxxxx	—	ファームウエア 2 のバージョンを表示
			M-UPDATE	—	—	メンテナンス用メニュー（操作できません）
		XFUP-VER		xxxxxxxxxxxx	—	ファームウエア 3 のバージョンを表示
			X-UPDATE	—	—	メンテナンス用メニュー（操作できません）
		⏎				親画面 (MENU1) に戻る
		▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）				
	USB	HOST/DEVICE		HOST/DEVICE	DEVICE	USB のモードを表示
	*2		HST	Select/Unselect	—	HostMode 設定 *2
			DEV	Select/Unselect	—	DeviceMode 設定
			⏎			親画面に戻る
		⏎				親画面 (MENU1) に戻る
		▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）				
	ZOOM1					
		CURVE-A		DEFAULT/ADJUST/CUSTOM	DEFAULT	ズーム補正カーブ A の状態を表示
			DEFAULT	Select/Unselect	—	ズーム補正カーブ A の特性を標準カーブにする
			ADJUST	Select/Unselect	—	ズーム補正カーブ A の特性を ADJUST にする
			CUSTOM	Select/Unselect	—	ズーム補正カーブ A の特性を CUSTOM にする
		A-ADJ		0 ～ 99	50	ズーム補正カーブ A の調整値を表示する
		CURVE-B		DEFAULT/ADJUST/CUSTOM	DEFAULT	ズーム補正カーブ B の状態を表示
			DEFAULT	Select/Unselect	—	ズーム補正カーブ B の特性を標準カーブにする
			ADJUST	Select/Unselect	—	ズーム補正カーブ B の特性を ADJUST にする
			CUSTOM	Select/Unselect	—	ズーム補正カーブ B の特性を CUSTOM にする
		B-ADJ		0 ～ 99	50	ズーム補正カーブ B の調整値を表示する
		CURVE-N		DEFAULT/ADJUST/CUSTOM	DEFAULT	ズーム補正カーブ N の状態を表示
			DEFAULT	Select/Unselect	—	ズーム補正カーブ N の特性を標準カーブにする
			ADJUST	Select/Unselect	—	ズーム補正カーブ N の特性を ADJUST にする
			CUSTOM	Select/Unselect	—	ズーム補正カーブ N の特性を CUSTOM にする
		N-ADJ		0 ～ 99	50	ズーム補正カーブ N の調整値を表示する
		▽				次の画面（ZOOM2）に進む
		⏎				親画面 (MENU1) に戻る
		▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）				
	ZOOM2					
		V-STOP		0 ～ 99	50	ズーム停止時の速度設定値
	*4	BCT		ON/OFF	OFF *7	現在の画角補正 (BCT) 機能の状態（ON または OFF）
		△				前の画面（ZOOM1）に戻る
		⏎				親画面 (MENU1) に戻る
		▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）				
	FOCUS	CURVE-N		DEFAULT/ADJUST/CUSTOM	DEFAULT	フォーカス補正カーブ N の状態を表示
			DEFAULT	Select/Unselect	—	フォーカス補正カーブ N の特性を標準カーブにする
			ADJUST	Select/Unselect	—	フォーカス補正カーブ N の特性を ADJUST にする
			CUSTOM	Select/Unselect	—	フォーカス補正カーブ N の特性を CUSTOM にする
		N-ADJ		0 ～ 99	50	フォーカス補正カーブ N の調整値を表示する
		CURVE-F		DEFAULT/ADJUST/CUSTOM	DEFAULT	フォーカス補正カーブ F の状態を表示
			DEFAULT	Select/Unselect	—	フォーカス補正カーブ F の特性を標準カーブにする
			ADJUST	Select/Unselect	—	フォーカス補正カーブ F の特性を ADJUST にする
			CUSTOM	Select/Unselect	—	フォーカス補正カーブ F の特性を CUSTOM にする
		F-ADJ		0 ～ 99	50	フォーカス補正カーブ F の調整値を表示する
		⏎				親画面 (MENU1) に戻る
		▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）				
	IRIS	GAINUP		1/8,1/16	1/8	オートアイリスゲインを設定する（ON=1/8,OFF=1/16）
		IRIS-COMP		ON/OFF	ON	内蔵エクステンダ使用時のアイリス補正機能設定（ON/OFF）
	*3	FORCED-CLOSE		ON/OFF	ON	アイリス補正時のアイリスクローズ動作を設定する *3
		⏎				親画面に戻る
		▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）				
	EXTENDER					
		⏎				親画面 (MENU1) に戻る
		▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）				
	▽					次画面 (MENU2) に進む
	⏎					親画面 (TOP) に戻る
	▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）					
画面の▽に▽ SELECT で✔ SET すると MENU2 に進む、画面の⏎に▽ SELECT で✔ SET すると TOP（STS）画面に戻る						

トップメニュー	選択項目	サブメニュー 1	サブメニュー 2	数値設定画面	初期値	機能説明
MENU2	BF					
		⏎				親画面 (MENU2) に戻る
		▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）				
	STBI	PUSH-SW		MOMENT/ALT *9	ALT *9	防振コントローラの ON/OFF スイッチの動作を設定する MOMENT= モーメンタリ（押している間だけ、防振が ON になる） ALT=オルターネート（押すごとに防振機能の ON/OFF が切り替わる）
		STD SET		DEF/CUSTOM	DEF	STD. モード時の防振特性を設定する
			DEFAULT	Select/Unselect	—	初期設定値
			CUSTOM	Select/Unselect	—	防振特性の選択が可能となる
			INTENSIV	1 ～ 8	1	防振補正強度を 8 段階で選択可
			LOW AMPL FN	ON/OFF	ON	ON にすると静止時も防振補正が継続する
		HIGH SET		DEF/CUSTOM	DEF	HIGH モード時の防振特性を設定する
			DEFAULT	Select/Unselect	—	初期設定値
			CUSTOM	Select/Unselect	—	防振特性の選択が可能となる。
			INTENSIV	1 ～ 8	1	防振補正強度を 8 段階で選択可
			LOW AMPL FN	ON/OFF	ON	ON にすると静止時も防振補正が継続する
		⏎				
		▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）				
	SETTING	STORE-SETTING		No-MEM/File/Host	—	設定 / 調整した値を、外部の USB メモリに保存する
	*8			START/PROCESSING	—	USB メモリへの保存を開始する
		READ-SETTING		No-MEM/Host	—	外部の USB メモリから、保存された設定 / 調整値を読み出し・復元する
	*8			START/PROCESSING	—	USB メモリへの保存を開始する
		FACTORY-DEFAULT		START	—	設定値をすべて工場出荷時の状態に戻す
				PROCESSING	—	実行中
		⏎				親画面 (MENU2) に戻る
		▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）				
	OTHERS	BACKLIGHT		0 ～ 99 *10	50 *10	LCD パネルのバックライトの光量（0 ～ 99）を設定する
		TALLY_LOW		0 ～ 99	25/70 *11	タリーランプ (TALLY_LOW) の光量（0 ～ 99）を設定する
		⏎				親画面 (MENU2) に戻る
		▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）				
	△					前画面 (MENU1) に戻る
	⏎					親画面 (TOP) に戻る
	▽ SELECT で選択、✔ SET で決定（画面移動する）					
画面の△に▽ SELECT で✔ SET すると MENU1 に戻る、画面の⏎に▽ SELECT で✔ SET すると TOP（STS）画面に戻る						

*1 対応する MECCON 基板のディップスイッチを ON にすると、LCD パネル操作で ON/OFF を設定することができます。
*2 USB の HOST モードを有効にするためには、メニューで HOST モードの設定をした後にシステムをリセットする必要があります。
（通常は、システムは DEVICE モードで起動します。）
*3 アイリス補正モードで動作中に、カメラからアイリスクローズ信号が入力されたときにアイリスを完全クローズにします。
*4 画角補正機能（Breathing Compensation Technology）は、フォーカス操作の影響で画角が変動する現象（Breathing）を補正する機能です。
*5 MECCON 基板の DIP スイッチの状態を表示しています。(37 ページ参照)
*6 HZK シリーズではカメラメーカーではなく STD と表示されます。
*7 UA27/HZK25-1000 では ON、それ以外の機種は OFF に設定されています。
*8 USB メモリを使用するときは、本製品の USB を HOST モードで起動する必要があります。
HOST モードで USB メモリを抜き差ししないでください。
*9 光学防振機構を搭載していない機種では、無効です。
*10 DIP SW が BackLight OFF に設定された状態では ″0″ を表示します。
*11 UA27 では 70、それ以外の機種では 25 で、初期設定されています。

MEMO

1.2 各部の名称と操作



システムリセットスイッチ	レンズ全体を再起動します。 LCDパネルには、TOP画面＝STS（ステータス）画面が表示されます。
LCDパネル	設定内容および状態を表示します。
SELECTキー	項目／画面選択用のプッシュスイッチです。 このスイッチを押すごとに、LCDパネルの画面左下に表示された機能で、パネルを操作します。 ▽MONITORと表示されているときは、MONITOR画面に移動 ▽SELECTと表示されているときは「項目選択キー」として動作 ⏎RETURN親画面に戻る
SETキー	カーソルが指している項目の操作を有効にします。 ✔SET決定＝設定／選択を有効にする 選択された項目のサブメニューがある場合は次のサブ画面に移動します。 階層を移動しない場合は、選択項目の設定変更と保存を行います。 ▽NEXT次の場面に移動する △BACK前の画面に戻る
SW3151	従来機種と同様のDIPスイッチ操作を行います。 本スイッチのOFF操作が最優先となり、本スイッチでOFFに設定した項目をLCDパネル操作でONにすることはできません。
SW3150	従来機種と同様のDIPスイッチ操作を行います。 本スイッチのOFF操作が最優先となり、本スイッチでOFFに設定した項目をLCDパネル操作でONにすることはできません。

LCD パネルによる設定操作は

SELECTボタンで項目選択　→　SETボタンで決定（項目設定または次のステップに移動）
（下層メニューがある場合）：　下層メニューに移動→下層メニューの内容で操作
（下層メニューがない場合）：　SELECTボタンで（ON/OFFなどの）設定値選択　→　SETボタンを押下
の順で行います。

「▽SELECT」のキー表示で項目選択をする時、カーソルは下方向にだけ移動します。
SELECTボタンを押すごとにひとつ下の項目に項目選択カーソルが移動し、カーソルが最下段に達した後は、画面の最上段に戻ります。

★ 操作記号の意味

▽は一つ下の項目または次のメニューへの移動、△は一つ前のメニューへの移動、
⏎はTOP画面または親画面への移動、
✔は決定ボタンとして働くことを示します。

★ 工場出荷状態への復帰操作

パネル操作で設定した項目をすべて初期状態に戻したいときは、
MENU2のSETTING→「FACTROY DEFAULT」の、初期化操作を行ってください。
「FACTROY DEFAULT」操作は、設定した直後に、システムの動作に反映されます。

注．レンズの動作に不都合が生じたときは、システムリセットスイッチを押して、レンズを再起動させてください。
レンズを再起動させても不都合が解消しない場合は、弊社代理店にご連絡ください。

1.3 パネル操作の手順

★ 操作画面の選択

レンズの電源をONすると、最初にSTS（STATUS：状態表示）画面が現れます。
画面最下段（下枠）に「▽MENU」が表示されている状態でSELECTSETボタンを押すと、次の画面（MENU1）に移動します。さらにMENU1画面で「▽SELECT」が表示されている状態では、SELECTボタンを押すごとに画面のカーソルが一つずつ下に移動し、選択している項目が変わって行きます。「▽」にカーソルを合わせて「SETキー」を押すと、画面はMENU2に移動します。

ステータス表示画面（STS）

TOP		
STS	DRIVER	CONTROL
FCS	NORMAL	DEMAND
ZOM	HIGH	PC
IRS	AUTO	CAMERA
EXT	x1	
STB	H : HIGH	V : HIGH
BF	BF-BAR	MAC-SW
	F N	
▽ MENU		

SELECTキー（▽MENU）を押すと「MENU]画面に移動します。

⇓

MENU1画面（MENU1）

	MENU	1/2	
	DIPSW		DIPスイッチ設定
	FW-VER		ファームウエア操作
	USB		USB操作
	ZOOM		ズーム操作
	FOCUS		フォーカス操作
	IRIS		アイリス操作
	EXTENDER		エクステンダ操作
➢	▽		次画面(MENU2)に進む
	⏎		TOP画面(STS)に戻る
▽	SELECT	✔ SET	

SELECTキー（▽SELECT）を押すと、選択項目を示すカーソルが一つ下の項目に移動します。
SETキー（✔SET）を押すと、カーソルが示している機能のサブメニューに移動します。
「▽」にカーソルを合わせてSETキーを押すと、次の画面（MENU2）に移動します。
「⏎」にカーソルを合わせてSETキーを押すと、TOP画面（STS画面）に戻ります。

⇓

MENU2画面（MENU2）

	MENU	2/2	
➢	BF		バックフォーカス操作
	STBI		防振ON/OFFスイッチ機能
	SETTING		設定値操作（保存/読み出し）
	OTHERS		その他の機能
	△		前画面(MENU1)に戻る
	⏎		TOP画面(STS)に戻る
▽	SELECT	✔ SET	

MENU2画面では、「△」にカーソルを合わせてSETキー（✔SET）を押すと、前の画面（MENU1）に戻り、「⏎」にカーソルを合わせてSETキー（✔SET）を押すと、TOP画面（STS画面）に戻ります。

下位画面への移動と設定値変更の例（MENU1 →ZOOM）

MENU1 画面（MENU1）

	MENU	1/2	
	DIPSW		DIP スイッチ設定
	FW-VER		ファームウエア操作
	USB		USB 操作
➢	ZOOM		ズーム操作
	FOCUS		フォーカス操作
	IRIS		アイリス操作
	EXTENDER		エクステンダ操作
	▽		次画面（MENU2）に進む
	⏎		TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

カーソルがZOOMを指している状態でSETキー（✔SET）を押下

⇓

ZOOM操作画面

	ZOOM1	(1/2)	
➢	CURVE-A	xxxxxxxx	ズーム補正カーブ A の状態を表示（初期値 / 調整値表示 / 調整起動）
	A-ADJ	xx	ズーム補正カーブ A の設定値を表示（0 ～ 99）
	CURVE-B	xxxxxxxx	ズーム補正カーブ B の状態を表示（初期値 / 調整値表示 / 調整起動）
	B-ADJ	xx	ズーム補正カーブ B の設定値を表示（0 ～ 99）
	CURVE-N	xxxxxxxx	ズーム補正カーブ N の状態を表示（初期値 / 調整値表示 / 調整起動）
	N-ADJ	xx	ズーム補正カーブ N の設定値を表示（0 ～ 99）
	▽		次の画面（ZOOM2）に移動する
	⏎		親画面（MENU1）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓

設定を選択する場合

（MENU1/ZOOM/CURVE-Aなど）

	ZOOM1			1/1
➢	CURVE-A			1/1
	A-ADJ	➢	DEFAULT	
	CURVE-B		ADJUST	
	B-ADJ		CUSTOM	
	CURVE-N		⏎	
	N-ADJ			
	▽			
	⏎			
	▽ SELECT			✔ SET

① 設定値選択画面に入る＝上位画面で数値設定する『項目名』を選択して、SETキーを押す。
② カーソルを設定したい位置（DEFAULT、ADJUST、CUSTOM）に移動させる。
③ SETボタンを押す。
④ 設定が記憶されて上位画面に戻る。
⑤ 設定値が変更後の値になっていることを確認する。

★ 設定を変更しない場合は、カーソルを『⏎』に合わせて SET キーを押せば、操作がキャンセルされて上位画面に戻ります。

⇓

数値を設定する場合

（MENU1/ZOOM/A-ADJUSTなど）

	ZOOM1			1/1
➢	CURVE-A	SET-NUM		1/1
	A-ADJ	(A)	(B)	+
	CURVE-B	X		Y
	B-ADJ			
	CURVE-N			
	N-ADJ	(C)	(D)	−
	▽	(E)	UPDATE	
		(F)	⏎	
	⏎			
	▽ SELECT			✔ SET

① 数値設定画面を開く＝数値設定する『項目名』を選択して、SETキーを押す。
② 操作したい位置にカーソルを移動させる。（数値設定画面では、カーソルは（A）上位桁″+″→（B）下位桁″+″→（C）上位桁″−″→（D）下位桁″−″→（E）『UPDATE』→（F）『△』→（A）上位桁″+″に,繰り返し移動する）
③ カーソルを″+″または″−″に合わせてSETボタンを押す。
④ SETボタンを押すごとにカーソルのある桁の数字がインクリメントまたはデクリメントする。
⑤ 上位桁、下位桁の数値を設定したら、カーソルを『UPDATE』に合わせてSETキーを押す。
⑥ 設定が記憶されて上位画面に戻る。
⑦ 数値が反映されていることを確認する。

2　基本的な操作の流れ

本システムでは、複数のメニュー画面と、選択した項目に応じたサブ画面の階層構造で、項目ごとの設定値を操作します。
SELECTキー（スイッチ）およびSETキー（スイッチ）は、設定内容により機能が変わります。
パネル最下段の左側にSELECTキーの機能が、パネル最下段の右側にSETキーの機能が表示されます。

SELECTキー、SETキーに割り当てられる機能は以下の通りです。

パネル画面	SELECTキーの表示	SETキーの表示	機能
TOP（STS画面）	▽MENU	✔—	SELECTキーでMENU画面に移動 SETキーは機能なし
通常操作画面 （MENU画面など）	▽SELECT	✔SET	SELECTキーで項目選択、 SETキーで決定（設定/サブ画面に進む）
DIPSW画面(1/2)	⏎RETURN	▽NEXT	SELECTキーで親画面(TOP画面）に戻る、 SETキーは次画面に進む
DIPSW画面(2/2)	⏎RETURN	△BACK	SELECTキーで親画面(TOP画面）に戻る、 SETキーは前画面に戻る

また、パネルの中の選択項目として表示される画面移動マークは、以下の操作を意味します。

▽	次画面に進む
△	前画面に戻る
⏎	親画面に戻る

2.1 電源ON ～ TOP画面(STS画面)

本システムでは、電源投入時、TOP画面としてSTS（システム状態表示）画面が表示されます。
STS画面では、レンズに接続されているシステムの構成を一覧表示して、接続されている機器が用途にあったものになっているかどうかを確認できます。

注．　STS画面はシステムの構成を確認するだけで、設定内容を変更することはできません。

① STS画面でSELECTボタンを押すと、「▽MENU」の表示に応じて、MENU 1 画面に移動します。

2.2 MENU 1 画面

MENU 1 画面では、DIPスイッチの操作、USBのモード設定、ズーム/フォーカス/アイリスの特性設定、エクステンダの操作を行います。

① 画面内の項目にカーソルを合わせてSETキーを押すと、選択した項目のサブメニューに移動します。
② サブメニュー内で、それぞれの項目の設定内容に応じたパラメータ（モード指定、ON/OFF切替、または数値設定）を設定します。
③ カーソルを画面移動マーク（″△″、″▽″、″⏎″）の位置に置いてSETキーを押し、別画面に移動します。
（″△″の移動先は前画面、″▽″の移動先は次の画面＝MENU2″、⏎″の移動先はTOP画面です。）

2.3 MENU 2 画面

MENU 2 画面では、バックフォーカス調整（フランジバック、マクロ操作兼用）、防振機能設定、パラメータの操作（保存/読み出し・復元、初期化）、LEDランプ類の輝度調整を行います。

① 画面内の項目にカーソルを合わせてSETキーを押して、選択した項目のサブメニューに移動します。
② サブメニュー内で、それぞれの項目の設定内容に応じたパラメータ（モード指定、ON/OFF切替、または数値設定）を設定します。
③ カーソルを画面移動マークの位置に置いてSETキーを押し、別画面に移動します。
（″△″の移動先は前画面、″⏎″の移動先はTOP画面です。）

3　TOP画面（STS画面）の表示

電源ON時に表示されるSTS（状態表示）画面では、システムで使用されているサーボモジュールやコントローラの状態を表示します。

① STS画面は状態を表示するだけで、項目／設定を操作することはできません。
② 設定を変更する場合は、SELECT/SETのキー操作により、MENU1、MENU2の画面に移動してください。
　STS画面からは、「SET」スイッチ押下のみで、「MENU1」画面に移動します。

STS画面

TOP			1/1
➢	STS	DRIVER	CONTROL
	FCS	XXXXX	xxxxxxxx
	ZOM	XXXXX	xxxxxxxx
	IRS	XXXXX	xxxxxxxx
	EXT	XXXXX	
	STB	H : XXXX	V : XXXX
	BF	BF-BAR	MAC-SW
	F N		
	▽ MENU		✔ SET

表示内容のタイトル
フォーカス制御の状態
ズーム制御の状態
アイリス制御の状態
エクステンダ制御の状態
防振制御の状態
マスターレンズ制御の状態
バックフォーカス（フランジバック）調整位置の表示

↑表示するデバイスの種類
↑デバイスで使用する駆動モジュール
↑デバイスに接続されたコントローラ

3.1 フォーカス（FCS）の構成状態

フォーカスに接続された機器の種類・状態は以下の通り

接続要素	項目表示	説明
DRIVER（駆動デバイス）	NORMAL	標準サーボモジュール
	HIGH	高速サーボモジュール
	NO-MT	無し（サーボモジュールは未接続）
CONTROL（制御デバイス）	DEMAND	コントロールデマンド制御
	PC	PCリモート制御
	CAM-PAR	カメラ制御（パラレル制御）
	CAM-SER	カメラ制御（シリアル制御）
	IDLE	指令待ち
	PRESET	PRESET動作状態

3.2 ズーム（ZOM）の構成状態

ズームに接続された機器の種類・状態は以下の通り

接続要素	項目表示	説明
DRIVER（駆動デバイス）	NORMAL	標準サーボモジュール
	HIGH	高速サーボモジュール
	NO-MT	無し（サーボモジュールは未接続）
CONTROL（制御デバイス）	DEMAND	コントロールデマンド制御
	PC	PCリモート制御
	CAM-PAR	カメラ制御（パラレル制御）
	CAM-SER	カメラ制御（シリアル制御）
	IDLE	指令待ち
	PRESET	PRESET動作状態

3.3 アイリス（IRS）の構成状態

アイリスに接続された機器の種類・状態は以下の通り

接続要素	項目表示	説明
DRIVER（駆動デバイス）	AUTO	オートアイリス制御
	REMOTE	リモートアイリス制御
CONTROL（制御デバイス）	CTL	アイリスコントローラ制御
	PC	PC リモート制御
	CAM-PAR	カメラ制御（パラレル制御）
	CAM-SER	カメラ制御（シリアル制御）
	IDLE	指令待ち
	DEMAND	デジタルズームデマンドでアイリスコントロール制御

3.4 エクステンダ（EXT）の構成状態

エクステンダに接続された機器の種類・状態は以下の通り

接続要素	項目表示	説明
DRIVER（駆動デバイス）	x1	エクステンダ無し
	EXT	標準エクステンダ
	AUX	オプションエクステンダ
	PJ	システム予約
	ー	（切り替え動作中）

3.5 防振制御（STB）の構成状態

防振制御機能の動作状態は以下の通り

（光学防振機構を搭載していない機種では、無効です。）

接続要素	項目表示	説明
DRIVER（駆動デバイス）	H:xxxx V:xxxx	H:xxxx ＝ H 方向の補正状態、V:xxxx ＝ V 方向の補正状態
		HIGH ＝HIGH モード STD ＝STD. モード OFF ＝補正 OFF
	H: ー　V: ー	防振機構なし

3.6 フランジバック（BF）の構成状態

フランジバック制御の接続状態は以下の通り

接続要素	項目表示	説明
DRIVER（駆動デバイス）	BF-BAR	（下段のフランジバック位置表示バーを示す）
CONTROL（制御デバイス）	MAC-SW	マクロスイッチが ON になっている状態
	FFCNT	フランジバックを調整可能な状態
	PC	PC リモート制御
	MAC-POS	位置制御型のマクロコントローラが接続されている状態
	MAC-SPD	速度制御型のマクロコントローラが接続されている状態
	MAC-DEM	デジタルズームデマンドのマクロコントロールが接続されている状態

3.7 バックフォーカス位置（BF-POS）の表示

BF-BAR の表示は、現在のフランジバックまたはマクロ（マスタレンズ）の位置を表す。

F 端＝無限遠（Far）側にレンズがある

N 端＝至近（Near）側にレンズがある

4 MENU1 画面での操作

4.1 DIPスイッチの確認と設定

注． DIPSW画面では、DIPスイッチの設定状態を表示するだけで、設定を変更することはできません。

MENU1 画面

MENU		1/2	
➢	DIPSW		**DIP スイッチ設定**
	FW-VER		**ファームウエア操作**
	USB		**USB 操作**
	ZOOM		**ズーム操作**
	FOCUS		**フォーカス操作**
	IRIS		**アイリス操作**
	EXTENDER		**エクステンダ操作**
	▽		**次画面（MENU2）に進む**
	⏎		**TOP 画面（STS）に戻る**
	▽ SELECT	✔ SET	

SETボタン押下でDIPSW画面に移動

⇓ ⇑

SW3151

SW3151		1/2	
➢	BACKLIGHT	ON/OFF	**LCD バックライト ON/OFF**
	TALLY-ADJUST	ON/OFF	**タリー光量（TALLY_LOW）調整 ON/OFF**
	RESERVE 0-6	ON/OFF (DEFAULT)	**システム予約**
	RESERVE 0-5	ON/OFF (DEFAULT)	**システム予約**
	RESERVE 0-4	ON/OFF (DEFAULT)	**システム予約**
	RESERVE 0-3	ON/OFF (DEFAULT)	**システム予約**
	CAM[2:1]=	—	
	S.P.G,H/I	S/P/G/"H/I"	**カメラメーカー選択**
	⏎ RETURN	▽ NEXT	

SELECTボタン押下でMENU1 に戻る、SETボタン押下で次画面（SW3150）に移動する。

⇓ ⇑

SW3150

SW3150		2/2	
➢	RESERVE 1-8	—	**システム予約**
	Z/F-CUSTOM	ON/OFF	**フォーカス / ズームカスタム設定 ON/OFF**
	RESERVE 1-6	—	**システム予約**
	IRIS-CLOSE	ON/OFF	**アイリス強制クローズ**
	IRIS-COMP	ON/OFF	**アイリス補正 ON/OFF**
	IRIS-GAINUP	ON/OFF	**オートアイリスゲインアップ（ON=1/8、OFF=1/16）**
	BCT	ON/OFF	**画角補正（BCT）機能 ON/OFF**
	CAMERA-SER	ON/OFF	**カメラシリアル通信 ON/OFF**
	⏎ RETURN	△ BACK	

SELECTボタン押下でMENU1 に戻る、SETボタン押下で前画面（SW3151）に戻る。

バックライト光量の設定およびTALLYランプの光量設定は、MENU2 の"OTHERS"で行います。
カメラメーカー選択は、スイッチ操作で行います。パネル操作でカメラメーカーの設定を変えることはできません。
フォーカス、ズームの補正設定はMENU1 の"ZOOM"、"FOCUS"で行います。
アイリスの設定変更はMENU1 の"IRIS"で行います。
シリアル通信ON/OFFの操作はスイッチ操作で行います。パネル操作で設定を変えることはできません。

4.2 ファームウエアの操作

注． この項目は、メンテナンスで使用します。詳細は、購入先代理店にお問い合わせください。

MENU1 画面（MENU1）

MENU		1/2	
	DIPSW		**DIP** スイッチ設定
➢	FW-VER		ファームウエア操作
	USB		**USB** 操作
	ZOOM		ズーム操作
	FOCUS		フォーカス操作
	IRIS		アイリス操作
	EXTENDER		エクステンダ操作
	▽		次画面（**MENU2**）に進む
	⏎		**TOP** 画面（**STS**）に戻る
▽	SELECT	✔ SET	

⇓

FW-VER 画面（サブメニュー）

FW-VER			
	SFUP-VER	xxxxxxxx	ファームウエア **1** のバージョン
➢	S-UPDATE	—	メンテナンス用メニュー（操作できません）
	MFUP-VER	xxxxxxxx	ファームウエア **2** のバージョン
	M-UPDATE	—	メンテナンス用メニュー（操作できません）
	XFUP-VER	xxxxxxxx	ファームウエア **3** のバージョン
	X-UPDATE	—	メンテナンス用メニュー（操作できません）
	⏎		親画面（**MENU1**）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

MEMO

4.3 USBのモード設定

本製品のUSBは、本製品をPCから制御するDEVICEモードと、本製品がUSBメモリを読み書きするHOSTモードの、両方の機能を備えています。
通常は、本製品はDEVICEモードで立ち上がりますが、設定値の保存や読み出しをするときは、本製品のUSBをHOSTモードで再起動させる必要があります。
本製品のUSBをHOSTモードにするには、下記の手順でシステムを設定してください。

MENU1 画面（MENU1）

MENU		1/2	
	DIPSW		**DIP スイッチ設定**
	FW-VER		**ファームウエア操作**
➢	USB		**USB 操作**
	ZOOM		**ズーム操作**
	FOCUS		**フォーカス操作**
	IRIS		**アイリス操作**
	EXTENDER		**エクステンダ操作**
	▽		**次画面（MENU2）に進む**
	⏎		**TOP 画面（STS）に戻る**
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓　　⇑

USBモード表示画面

USB		1/1	
➢	HOST/DEVICE	HST/DEV	**現在の USB のモードを表示する**
	⏎		**親画面（MENU1）に戻る**
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓　　⇑

USBモード設定画面

USB				1/1	
➢	HOST/DEVICE			1/1	
	⏎	➢	HOST		**本製品の USB を HOST モードに設定する**
			DEVICE		**本製品の USB を DEIVCE モードに設定する**
			⏎		**親画面（USB モード表示画面 ）に戻る**
	▽ SELECT			✔ SET	

① カーソルをHOSTに合わせる。
② SETボタンを押下して設定を記憶させる。
③ 設定が記憶されて、上位画面（USB設定）に戻る。
④ USBメモリを挿入する。
⑤ システムを再起動する。（5 ページ参照）
⑥ 上位画面でSTATUSの表示が″HST″に変わっていることを確認する。

注 1. 設定を変更しない場合は、″⏎″→″SET″で上位画面に戻ります。

注 2. USBのHOSTモードは、HOSTモードを設定して再起動したときだけ、有効になります。
HOSTモードでの操作をしたあとにシステムを再起動すると、本製品のUSBはDEVICEモードで立ち上がります。

注 3. HOSTモードでUSBメモリを抜き差ししないでください。

注 4. DEVICEモードは、メンテナンスで使用します。詳細は、購入先代理店にお問い合わせください。

4.4 ズームの設定

ズームの操作は、ZOOM1 とZOOM2 の 2 画面に分かれています。ZOOM1 では、動作特性カーブの設定を、ZOOM2 では、応答速度や補正機能の設定をします。

MENU1 画面（MENU1）

MENU		1/2	
	DIPSW		DIP スイッチ設定
	FW-VER		ファームウエア操作
	USB		USB 操作
➢	ZOOM		ズーム操作
	FOCUS		フォーカス操作
	IRIS		アイリス操作
	EXTENDER		エクステンダ操作
	▽		次画面（MENU2）に進む
	⏎		TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

SETボタン押下

⇓ ⇑

ズーム操作設定画面

ZOOM1		(1/2)	
➢	CURVE-A	xxxxxxxx	ズーム補正カーブ A の状態を表示（初期値 / 調整値表示 / 調整起動）
	A-ADJ	xx	ズーム補正カーブ A の設定値を表示（0 ～ 99）
	CURVE-B	xxxxxxxx	ズーム補正カーブ B の状態を表示（初期値 / 調整値表示 / 調整起動）
	B-ADJ	xx	ズーム補正カーブ B の設定値を表示（0 ～ 99）
	CURVE-N	xxxxxxxx	ズーム補正カーブ N の状態を表示（初期値 / 調整値表示 / 調整起動）
	N-ADJ	xx	ズーム補正カーブ N の設定値を表示（0 ～ 99）
	▽		次の画面（ZOOM2）に移動する
	⏎		親画面（MENU1）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓ ⇑

ZOOM2		(2/2)	
➢	V-STOP	xx	ズームの停止速度を表示（0 ～ 99）
	BCT	ON/OFF	現在の画角補正（BCT）機能の状態（ON または OFF）
	△		前の画面（ZOOM1）に移動する
	⏎		親画面（MENU1）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

・設定を変更しない場合は、″⏎″→″SET″で上位画面に戻ります

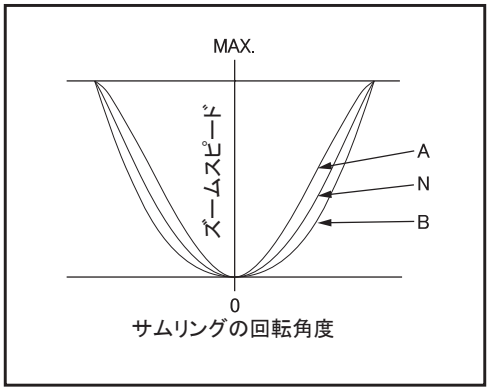
MEMO

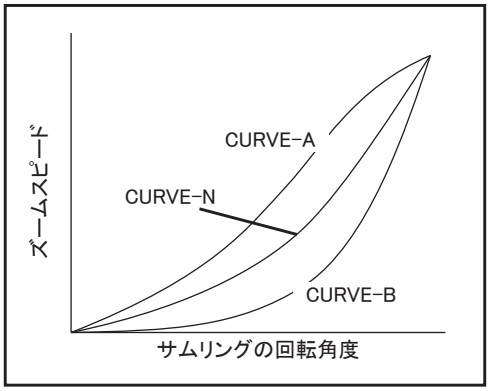
4.4.1 ズーム補正方法の選択

ズームカーブ A/B/Nの設定は、ズームデマンドのカーブ切り替えSWで選択するA/B/Nのカーブをカスタマイズできます。
ズームカーブ A は、サムリング操作の動き出し感度が高い設定、ズームカーブ B は、サムリング操作の動き出し感度が低い設定。ズームカーブ N はズームカーブ A と B の中間の設定を行います。

注 1. DIP スイッチまたは LCD 画面設定の DIP-SW の、どちらかのカスタマイズスイッチが OFF の時は、ズームカーブ A / B / N には、強制的に DEFAULT 値が適用されます。

注 2. ズームカーブ B および N の設定 / 調整方法はズームカーブ A と同じです。（以下の説明はズームカーブ A の説明で代表します）





ズーム操作設定画面

ZOOM		1/1	
➢	CURVE-A	xxxxxxxx	ズーム補正カーブ A の状態を表示（DEFAULT/ADJUST/CUSTOM）
	A-ADJ	xx	ズーム補正カーブ A の ADJUST 設定値を表示（0 ～ 99）
	CURVE-B	xxxxxxxx	ズーム補正カーブ B の状態を表示（DEFAULT/ADJUST/CUSTOM）
	B-ADJ	xx	ズーム補正カーブ B の ADJUST 設定値を表示（0 ～ 99）
	CURVE-N	xxxxxxxx	ズーム補正カーブ N の状態を表示（DEFAULT/ADJUST/CUSTOM）
	N-ADJ	xx	ズーム補正カーブ N の ADJUST 設定値を表示（0 ～ 99）
	▽		次の画面（ZOOM2）に移動する
	⏎		親画面（MENU1）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

ズームカーブの補正モードは、DEFAULT/ADJUST/CUSTOM（初期値 / 調整値 / カスタムテーブル）の 3 種類から選択します。

⇓

ズーム補正カーブ設定画面

ZOOM			1/1	
➢	CURVE-A		1/1	
	A-ADJ	➢	DEFAULT	ズームカーブ A は初期値（DIP-SW のカスタマイズ SW が OFF と同等）
	CURVE-B		ADJUST	ズームカーブ A はユーザー調整値
	B-ADJ		CUSTOM	ズームカーブ A はカスタムテーブルを使用
	CURVE-N		⏎	上位画面（ズーム操作画面）に戻る
	N-ADJ			
	▽			
	⏎			
	▽ SELECT		✔ SET	

① 設定したいモードにカーソルを合わせて、SET キーを押します。
② 設定が完了すると、自動的に親画面（ズーム操作画面）に戻ります。

注 1.「⏎」にカーソルを合わせて「✔ SET」する必要はありません。

注 2. 設定した結果は、すぐに製品の動作に反映されます。

③ 設定を変更しない場合は、"⏎"→"SET" で上位画面に戻ります

4.4.2 ズーム補正カーブの調整値設定

ズームカーブの補正モードとしてADJUSTを選択した場合の調整値を、A-ADJ / B-ADJ / N-ADJで設定します。

注 1. CURVE-BおよびCURVE-Nの操作については、以下の説明をCURVE-A→CURVE-B / CURVE-N、A-ADJ→B-ADJ / N-ADJとして読み替えてください。
注 2. ズームカーブの補正モードとしてCUSTOMを選択した場合、内蔵の書き換え可能なテーブルを参照します。詳細は購入先代理店にお問い合わせください。

A-ADJでの設定値は、CURVE-Aの補正モードがADJUSTのときに有効になり、0～99の範囲で設定した数値に応じて補正カーブの効果が変わります。

ズーム操作設定画面

	ZOOM	1/1	
	CURVE-A	xxxxxxxx	ズーム補正カーブAの状態を表示（DEFAULT/ADJUST/CUSTOM）
➢	A-ADJ	xx	ズーム補正カーブAのADJUST設定値を表示（0～99）
	CURVE-B	xxxxxxxx	ズーム補正カーブBの状態を表示（DEFAULT/ADJUST/CUSTOM）
	B-ADJ	xx	ズーム補正カーブBのADJUST設定値を表示（0～99）
	CURVE-N	xxxxxxxx	ズーム補正カーブNの状態を表示（DEFAULT/ADJUST/CUSTOM）
	N-ADJ	xx	ズーム補正カーブNのADJUST設定値を表示（0～99）
	▽		次の画面（ZOOM2）に移動する
	⏎		親画面（MENU1）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

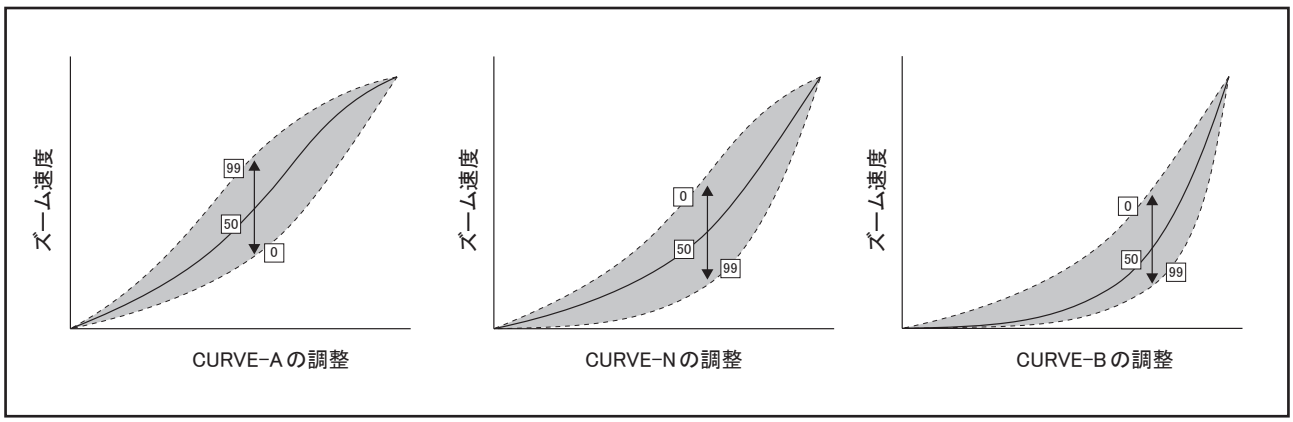
A-ADJを選択してSETキーを押下

⇓

★ 数値設定画面は、ズーム操作画面の上にかぶさる形で表示されます。

	ZOOM				1/1
	CURVE-A	SET-NUM			1/1
➢	A-ADJ	(A)	+	(B)	+
	CURVE-B		X		Y
	B-ADJ				
	CURVE-N				
	N-ADJ	(C)	−	(D)	−
	▽	(E)	UPDATE		
		(F)	⏎		
	⏎				
	▽ SELECT				✔ SET

① ZOOM操作画面で『A-ADJ』を選択して、SETボタン押下→数値設定画面に入る。
② 操作したい項目にカーソルを移動させる。
（数値設定画面では、カーソルは（A）上位桁″+″→（B）下位桁″+″→（C）上位桁″−″→（D）下位桁″−″→（E）『UPDATE』→（F）『⏎』→（A）上位桁″+″に，繰り返し移動する）
③ SETボタン押下ごとにカーソルのある桁の数字がインクリメントまたはデクリメントする。
④ 上位桁、下位桁とのみ所望の数値になったら、カーソルを『UPDATE』に合わせてSETボタンを押下して数値を記憶させる。
⑤ 数値を記憶させたら、カーソルを『⏎』に合わせてSETボタンを押下し、親画面（ZOOM操作）に戻る。



4.4.3 ズーム停止時の速度設定

V-STOPの調整は、ZOOM2の画面で行います。
V-STOPは、ズームが動作状態から停止するときの停止速度を設定します。
本項の設定値を小さくするとズームのサーボ特性がゆるやかに、設定値を大きくするとサーボは急峻に応答します。応答が速すぎると動作が不安定になり、遅すぎると操作性が悪くなりますので、不都合が起きない範囲で好みの速度に調整してください。

ズーム操作設定画面

	ZOOM		
➢	V-STOP	xx	ズームの停止速度を表示（0 ～ 99）
	BCT	ON/OFF	現在の画角補正（BCT）機能の状態（ON または OFF）
	△		前の画面（ZOOM1）に移動する
	⏎		親画面（MENU1）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

V-STOPを選択してSETキーを押下

⇓

V-STOP数値設定画面

★ 数値設定画面は、ズーム操作画面の上にかぶさる形で表示されます。

	ZOOM				1/1
➢	V-STOP	SET-NUM			1/1
	BCT	(A)	+	(B)	+
	△		X		Y
		(C)	−	(D)	−
		(E)	UPDATE		
		(F)	⏎		
	⏎				
	▽ SELECT				✔ SET

① ZOOM操作画面で『V-STOP』を選択して、SETボタン押下→ズーム初動速度設定画面に入る。
② 操作したい位置にカーソルを移動させる。
（数値設定画面では、カーソルは（A）上位桁″+″→（B）下位桁″+″→（C）上位桁″-″→（D）下位桁″-″→（E）『UPDATE』→（F）『⏎』→（A）上位桁″+″に,繰り返し移動する）
③ SETボタン押下ごとにカーソルのある桁の数字がインクリメントまたはデクリメントする。
④ 上位桁、下位桁とのみ所望の数値になったら、カーソルを『UPDATE』に合わせてSETボタンを押下して数値を記憶させる。
⑤ 数値を記憶させたら、カーソルを『⏎』に合わせてSETボタンを押下し、上位画面（ZOOM操作）に戻る。
⑥ ZOOM操作画面の『V-STOP』項の数値が、設定した値になっていることを確認する。

注． DIPスイッチまたはLCD画面設定のDIP-SWの、どちらかのズームカスタマイズスイッチがOFFの時は、V-STOPは、強制的にDEFAULT値が適用されます。

4.4.4 画角補正（BCT）機能設定

画角補正機能（ Breathing Compensation Technorogy ）は、フォーカス操作の影響で画角が変動する現象を、フォーカスとズームを連動させることで補正する機能です。

本項の設定でBCTの設定をONにすると補正機能が有効になり、OFFにすると補正を取りやめます。

注． DIPスイッチ（ SW3150 ）のBCTスイッチがOFFになっているときは、本項の設定にかかわらず、画角補正機能（BCT機能）はOFFになりますのでご注意ください。

ズーム操作設定画面

ZOOM2		2/2	
	V-STOP	xx	ズームの停止速度を表示（0 ～ 99）
➢	BCT	ON/OFF	現在の画角補正（BCT）機能の状態（ON または OFF）
	△		前の画面（ZOOM1）に移動する
	⏎		親画面（MENU1）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

BCTを選択してSETキーを押下

⇓

BCT機能設定画面

★ 設定画面は、ZOOM2 画面の上にかぶさる形で表示されます。

ZOOM2					2/2	
➢	V-STOP				ON/OFF	
	BCT	➢	OFF			BCT 機能を OFF にする
	△		ON			BCT 機能を ON にする
			⏎			親画面（ZOOM2）に戻る
	⏎					
	▽ SELECT				✔ SET	

① ZOOM2 操作画面で『BCT』を選択して、SETボタン押下→BCT機能設定画面に入る。
② OFFまたはONの位置にカーソルを移動させる。
③ SETボタンを押して、設定を記憶させる。
④ 数値を記憶させたら、カーソルを『 ⏎ 』に合わせてSETボタンを押下し、親画面（ZOOM2）に戻る。
⑤ ZOOM2 画面の『BCT』項の表示が、設定した値になっていることを確認する。

MEMO

4.5 フォーカスの設定（フォーカスの動作特性の設定）

MENU1 画面（MENU1）

MENU		1/2	
	DIPSW		DIP スイッチ設定
	FW-VER		ファームウエア操作
	USB		USB 操作
	ZOOM		ズーム操作
➢	FOCUS		フォーカス操作
	IRIS		アイリス操作
	EXTENDER		エクステンダ操作
	▽		次画面（MENU2）に進む
	⏎		TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

4.5.1 フォーカス補正方法の選択

フォーカスカーブ N は至近端付近（Near）でのフォーカスデマンドの操作特性を、フォーカスカーブ F は無限遠端付近（Far）でのフォーカスデマンドの操作特性を補正します。

注 1. DIP スイッチまたは LCD 画面設定の DIP-SW の、どちらかのズームカスタマイズスイッチが OFF の時は、フォーカスカーブ N / F には、強制的に DEFAULT 値が適用されます。

注 2. フォーカスカーブ F の設定 / 調整方法はフォーカスカーブ N と同じです。（以下の説明はフォーカスカーブ N の説明で代表します）

フォーカス操作設定画面

FOCUS		1/1	
➢	CURVE-N	xxxxxxxx	フォーカス補正カーブ N の状態を表示（DEFALT/ADJUST/CUSTOM）
	N-ADJ	xx	フォーカス補正カーブ N の調整値を表示
	CURVE-F	xxxxxxxx	フォーカス補正カーブ F の状態を表示（DEFALT/ADJUST/CUSTOM）
	F-ADJ	xx	フォーカス補正カーブ F の調整値を表示
	⏎		前画面（MENU1）に戻る
			TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓

フォーカス補正モード選択画面

★ モード選択画面は、フォーカス操作画面の上にかぶさる形で表示されます。

FOCUS				1/1	
➢	CURVE-N			1/1	
	N-ADJ	➢	DEFAULT		ズームカーブ N は初期値（DIP-SW のカスタマイズ SW が OFF と同等）
	CURVE-F		ADJUST		ズームカーブ N はユーザー設定値
	F-ADJ		CUSTOM		ズームカーブ N にカスタムテーブルを使用
	⏎		⏎		上位画面（フォーカス操作画面）に戻る
	▽ SELECT			✔ SET	

① 設定したいモードにカーソルを移動して、SET キーを押します。
② 設定が完了すると、親画面（フォーカス操作画面）に戻ります。

注 3. 設定した結果は、すぐに製品の動作に反映されます。

③ 設定を変更しない場合は、″⏎″→″SET″で上位画面に戻ります。

4.5.2 フォーカス補正カーブの設定またはフォーカス補正テーブルの選択

フォーカスカーブの補正モードとしてADJUST を選択した場合の特性値を、N-ADJまたはF-ADJで設定します。

注． CURVE-Fの操作については、以下の説明をCURVE-N→CURVE-F、N-ADJ→F-ADJとして読み替えてください。

N-ADJでの設定値は、CURVE-Nの補正モードがADJUSTのときに有効になり、0～99の範囲で設定した数値に応じて補正カーブの効果が変わります。

フォーカス補正カーブ設定画面

FOCUS		1/1	
	CURVE-N	xxxxxxxx	フォーカス補正カーブ N の状態を表示（初期値 / 調整値 / カスタムテーブル）
➢	N-ADJ	xx	フォーカス補正カーブ N の調整値を表示
	CURVE-F	xxxxxxxx	フォーカス補正カーブ F の状態を表示（初期値 / 調整値 / カスタムテーブル）
	F-ADJ	xx	フォーカス補正カーブ F の調整値を表示
	⏎		親画面（MENU1）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓

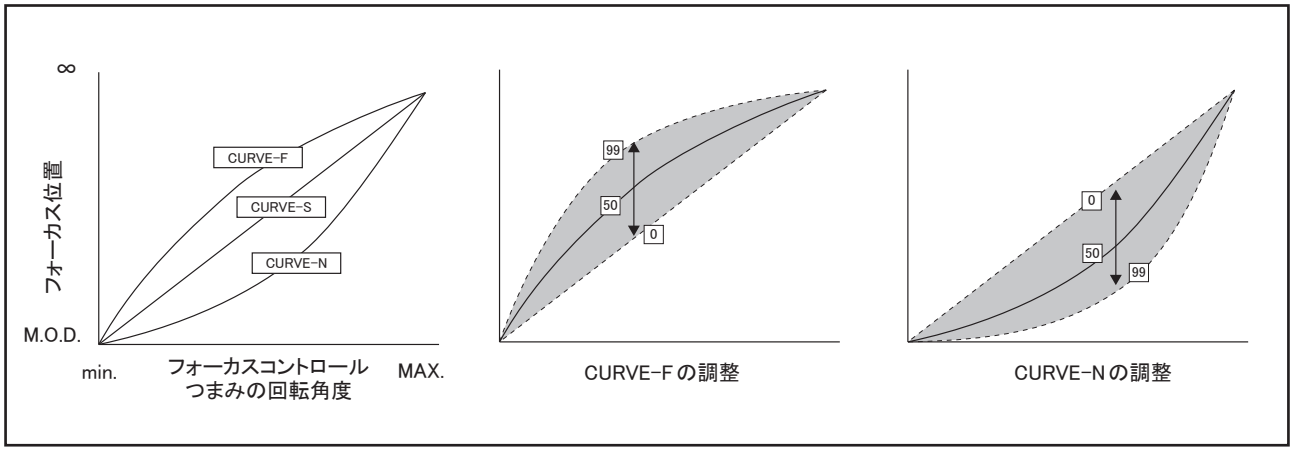
フォーカスカーブNの数値設定画面

★ 数値設定画面は、ズーム操作画面の上にかぶさる形で表示されます。

FOCUS					1/1
	CURVE-N	SET-NUM			1/1
➢	N-ADJ	(A)	+	(B)	+
	CURVE-F		X		Y
	F-ADJ				
	⏎				
		(C)	−	(D)	−
		(E)	UPDATE		
		(F)	⏎		
	▽ SELECT				✔ SET

① ZOOM操作画面で『N-ADJ』を選択して、SETボタン押下→数値設定画面に入る。
② 操作したい位置にカーソルを移動させる。
（数値設定画面では、カーソルは（A）上位桁″+″→（B）下位桁″+″→（C）上位桁″−″→（D）下位桁″−″→（E）『UPDATE』→（F）『⏎』→（A）上位桁″+″に，繰り返し移動する）
③ SETボタン押下ごとにカーソルのある桁の数字がインクリメントまたはデクリメントする。
④ 上位桁、下位桁とのみ所望の数値になったら、カーソルを『UPDATE』に合わせてSETボタンを押下して数値を記憶させる。
⑤ 数値を記憶させたら、カーソルを『⏎』に合わせてSETボタンを押下し、上位画面（FOCUS操作）に戻る。

注． 本項の設定（A-ADJ）は、『CURVE-N』の補正モードが『ADJUST』の時に有効になります。



4.6 アイリスの設定

MENU1 画面（MENU1）

MENU		1/2	
	DIPSW		DIP スイッチ設定
	FW-VER		ファームウエア操作
	USB		USB 操作
	ZOOM		ズーム操作
	FOCUS		フォーカス操作
➢	IRIS		アイリス操作
	EXTENDER		エクステンダ操作
	▽		次画面（MENU2）に進む
	⏎		TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

SETボタン押下

⇓　　⇑

アイリス操作設定画面

IRIS		1/1	
➢	GAINUP	1/8 または 1/16	オートアイリスゲインを設定する（ON=1/8,OFF=1/16）
	IRIS-COMP	ON/OFF	エクステンダ使用時のアイリス補正機能の ON/OFF を設定する
	FORCED-CLOSE	ON/OFF	アイリスの強制クローズ機能 ON/OFF を設定する
	⏎		親画面（MENU1）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

4.6.1 オートアイリスゲインの設定

オートアイリスゲインアップ設定画面

IRIS					1/1	
➢	GAINUP				1/1	
	IRIS-COMP	➢	1/8			オートアイリスゲインを 1/8 にする
	FORCED-		1/16			オートアイリスゲインを 1/16 にする
	⏎		⏎			親画面（IRIS）に戻る
	▽ SELECT				✔ SET	

① 設定したいモードにカーソルを置いて、SETキーを押します。
② 設定が完了すると親画面（アイリス操作画面）に戻ります。

注 1. DIPスイッチ（SW3150）のIRIS-GAINUPスイッチが″OFF：1/16″になっている場合、この機能をLCDパネル操作で″ON：1/8″にすることはできません。

注 2. 設定した結果は、すぐに製品の動作に反映されます。

4.6.2 アイリス補正機能のON/OFF設定

アイリス補正機能は、内蔵のエクステンダを使用した時に、テレ端付近で透過光量が下がって画像が暗くなる現象を補正する機能です。

MENU1 画面（MENU1）

MENU		1/2	
	DIPSW		**DIP スイッチ設定**
	FW-VER		**ファームウエア操作**
	USB		**USB 操作**
	ZOOM		**ズーム操作**
	FOCUS		**フォーカス操作**
➢	IRIS		**アイリス操作**
	EXTENDER		**エクステンダ操作**
	▽		**次画面（MENU2）に進む**
	⏎		**TOP 画面（STS）に戻る**
	▽ SELECT	✔ SET	

SETボタン押下

⇓　　⇑

アイリス操作設定画面

IRIS			
	GAINUP	1/8 または 1/16	**オートアイリスゲインを設定する（ON=1/8,OFF=1/16）**
➢	IRIS-COMP	ON/OFF	**エクステンダ使用時のアイリス補正機能の ON/OFF を設定する**
	FORCED-CLOSE	ON/OFF	**アイリスの強制クローズ機能 ON/OFF を設定する**
	⏎		**親画面（MENU1）に戻る**
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓　　⇑

強制アイリスクローズON/OFF設定画面

IRIS					1/1	
	GAINDUP				1/1	
➢	IRIS-COMP	➢	ON			**アイリス補正機能を有効にする**
	FORCED-		OFF			**アイリス補正機能を無効にする**
	⏎		⏎			**親画面（IRIS）に戻る**
	▽ SELECT				✔ SET	

① 設定したいモードにカーソルを置いて、SETキーを押します。
② 設定が完了すると親画面（アイリス操作画面）に戻ります。

注 1. DIPスイッチ（SW3150）のIRIS-COMPスイッチが"OFF"になっている場合、この機能をLCDパネル操作で"ON"にすることはできません。

注 2. 設定した結果は、すぐに製品の動作に反映されます。

4.6.3 強制アイリスクローズ機能のON/OFF設定

MENU1 画面（MENU1）

MENU		1/2	
	DIPSW		DIP スイッチ設定
	FW-VER		ファームウエア操作
	USB		USB 操作
	ZOOM		ズーム操作
	FOCUS		フォーカス操作
➢	IRIS		アイリス操作
	EXTENDER		エクステンダ操作
	▽		次画面（MENU2）に進む
	⏎		TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

SETボタン押下

⇓　　⇑

アイリス操作設定画面

IRIS			
	GAINUP	1/8 または 1/16	オートアイリスゲインを設定する（ON=1/8,OFF=1/16）
	IRIS-COMP	ON/OFF	エクステンダ使用時のアイリス補正機能の ON/OFF を設定する
➢	FORCED-CLOSE	ON/OFF	アイリスの強制クローズ機能 ON/OFF を設定する
	⏎		親画面（MENU1）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓　　⇑

強制アイリスクローズON/OFF設定画面

IRIS					1/1	
	GAINDOWN				1/1	
➢	FORCED-	➢	ON			アイリス制御入力がクローズの時、強制クローズする機能を有効にする
	⏎		OFF			アイリス制御入力に対する補正が有効な状態で制御する
			⏎			親画面（IRIS）に戻る
	▽ SELECT				✔ SET	

① 設定したいモードにカーソルを置いて、SETキーを押します。
② 設定が完了すると親画面（アイリス操作画面）に戻ります。

注 1. DIPスイッチ（SW3150）のIRIS-CLOSEスイッチが″OFF″になっている場合、この機能をLCDパネル操作で″ON″にすることはできません。

注 2. 設定した結果は、すぐに製品の動作に反映されます。

4.7 エクステンダ操作設定

MENU1 画面（MENU1）

MENU		1/2	
	DIPSW		**DIP** スイッチ設定
	FW-VER		ファームウエア操作
	USB		**USB** 操作
	ZOOM		ズーム操作
	FOCUS		フォーカス操作
	IRIS		アイリス操作
➤	EXTENDER		エクステンダ操作
	▽		次画面（**MENU2**）に進む
	⏎		**TOP** 画面（**STS**）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

SETボタン押下

⇓　　⇑

エクステンダ操作設定画面

EXTENDER		1/1	
➤	⏎		前画面（**MENU1**）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

注 1. 本製品では、エクステンダの操作は外部コントローラで行います。LCDパネルからの操作はできませんので、ご注意ください。

MEMO

5　MENU2 画面での操作

MENU1 操作画面で「▽」にカーソルを合わせてSETキーを押下すると、MENU2 画面に切り替わります。

MENU1 画面（MENU1）

MENU		1/2	
	DIPSW		DIP スイッチ設定
	FW-VER		ファームウエア操作
	USB		USB 操作
	ZOOM		ズーム操作
	FOCUS		フォーカス操作
	IRIS		アイリス操作
	EXTENDER		エクステンダ操作
➢	▽		次画面（MENU2）に進む
	⏎		TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓　　⇑

MENU2 画面（MENU2）

MENU		2/2	
➢	BF		フランジバック操作
	STBI		防振制御スイッチの機能設定
	SETTING		設定値操作（保存 / 読み出し）
	OTHERS		その他の機能
	△		前画面（MENU1）に戻る
	⏎		TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

MEMO

5.1 フランジバック（バックフォーカス）操作設定

本製品では、フランジバック調整とマクロ操作はLCDパネルからは操作しません。
フランジバック調整およびマクロ操作については、レンズの取扱説明書を参照してください。

MENU2 画面（MENU2）

MENU		2/2	
➢	BF		フランジバック操作
	STBI		防振制御スイッチの機能設定
	SETTING		設定値操作（保存 / 読み出し）
	OTHERS		その他の機能
	△		前画面（MENU1）に戻る
	⏎		TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓ ⇑

バックフォーカス操作画面

BF			
➢	⏎		上位画面（MENU2）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

MEMO

5.2 防振の設定

5.2.1 防振スイッチの機能設定

STBI画面では、レンズに接続する防振コントローラの防振ON/OFFスイッチの機能を設定します。
（光学防振機構を搭載していない機種では、無効です。）
防振コントローラの防振ON/OFFスイッチは、コントローラの仕様により、スイッチを押している間だけ、防振機能が働く、モーメンタリスイッチとして機能するものと、スイッチを押すごとに防振機能のONとOFFが切り替わるオルタネートスイッチとして働くものがあります。
レンズに接続された防振コントローラの仕様に合わせ設定を行ってください。

MENU2 画面（MENU2）

MENU		2/2	
	BF		バックフォーカス操作
➢	STBI		防振制御スイッチの機能設定
	SETTING		設定値操作（保存 / 読み出し）
	OTHERS		その他の機能
	△		前画面（MENU1）に戻る
	⏎		TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓ ⇑

設定値操作画面

STBI		1/1	
➢	PUSH SW	MOMENT/ALT	防振 ON/OFF スイッチを設定する。機能を表示する
	STD SET	DEF/CUSTOM	STD. モード時防振特性を設定する。設定状態を表示する（初期設定 / ユーザ設定）
	HIGH SET	DEF/CUSTOM	HIGH モード時防振特性を設定する。設定状態を表示する（初期設定 / ユーザ設定）
	⏎		上位画面（MENU2）に戻る
	▽ SELECT	✓ SET	

⇓ ⇑

MOMENT/ALT 選択画面

STBI				1/1	
➢	PUSH SW			1/1	
	STD SET	➢	MOMENT		防振 ON/OFF スイッチがモーメンタリ型のスイッチであるとして動作する
	HIGH SET		ALT		防振 ON/OFF スイッチがオルタネート型のスイッチであるとして動作する
	⏎		⏎		上位画面に戻る
	▽ SELECT			✔ SET	

5.2.2 HIGH STANDARDの防振特性設定

防振　HIGH/STD. 切替スイッチの各ポジションで防振特性を設定することができます。
DEFを選択すると初期設定値となります。CUSTOMを選択すると防振特性を選択して設定できます。

INTENSIV：防振補正強度を8段階で設定可能です。数値が大きいほど振動が抑制されますがパンチルト時のふらつきが発生しやすくなります。

LOW AMPL FN：ONすると静止時でも防振補正が継続しますが像がわずかに動く場合があります。OFFでは静止時防振補正を停止します。

MENU2画面（MENU2）

	MENU	2/2	
	BF		バックフォーカス操作
➢	STBI		防振制御スイッチの機能設定
	SETTING		設定値操作（保存 / 読み出し）
	OTHERS		その他の機能
	△		前画面（MENU1）に戻る
	⏎		TOP画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓　⇑

設定値操作画面

	STBI	1/1	
	PUSH SW	MOMENT/ALT	防振ON/OFFスイッチを設定する。機能を表示する
➢	STD SET	DEF/CUSTOM	STD.モード時防振特性を設定する。設定状態を表示する（初期設定 / ユーザ設定）
	HIGH SET	DEF/CUSTOM	HIGHモード時防振特性を設定する。設定状態を表示する（初期設定 / ユーザ設定）
	⏎		上位画面（MENU2）に戻る
	▽ SELECT	✓ SET	

⇓　⇑

DEFAULT/CUSTOM選択画面

	STBI	1/1	
	DEFAULT		DEFAULTを選択する
➢	CUSTOM		CUSTOMを選択する
	⏎		上位画面に戻る
	▽ SELECT	✓ SET	

⇓　⇑

防振特性項目選択画面

STBI		1/1
➤	INTENSIV	1 ～ 8
	LOW AMPL FN	ON/OFF
	⏎	
	▽ SELECT	✓ SET

INTENSIV を選択する。現在の設定値を表示する
LOW AMPL FN を選択する。現在の設定値を表示する
上位画面に戻る

⇓ ⇑

INTENSIV 設定画面

STBI				1/1
➤	INTENSIV			1/1
	LOW AMPL FN	➤	1	
	⏎		2 6	
			3 7	
			4 8	
			5 ⏎	
	▽ SELECT			✓ SET

1 ～ 8 を選択する

上位画面に戻る

⇓ ⇑

防振特性項目選択画面

STBI		1/1
	INTENSIV	1 ～ 8
➤	LOW AMPL FN	ON/OFF
	⏎	
	▽ SELECT	✔ SET

INTENSIV を選択する。現在の設定値を表示する
LOW AMPL FN を選択する。現在の設定値を表示する
上位画面に戻る

⇓ ⇑

LOW AMPL FN 設定画面

STBI				1/1
	INTENSIV			1/1
➤	LOW AMPL FN		OFF	
	⏎	➤	ON	
			⏎	
	▽ SELECT			✓ SET

OFF を選択する
ON を選択する
上位画面に戻る

※ HIGH も同様

5.3 設定値・調整値の保存と読み出し操作

SETTING画面では、LCDメニューの設定値をUSBメモリに保存したり、USBメモリに保存された設定値を読み出して復元する操作を行います。

注 1. USBメモリへのアクセスを行う場合、あらかじめUSBのモードを"HOST"に設定しておく必要があります。

注 2. HOSTモードでUSBメモリを抜き差ししないでください。

MENU2 画面（MENU2）

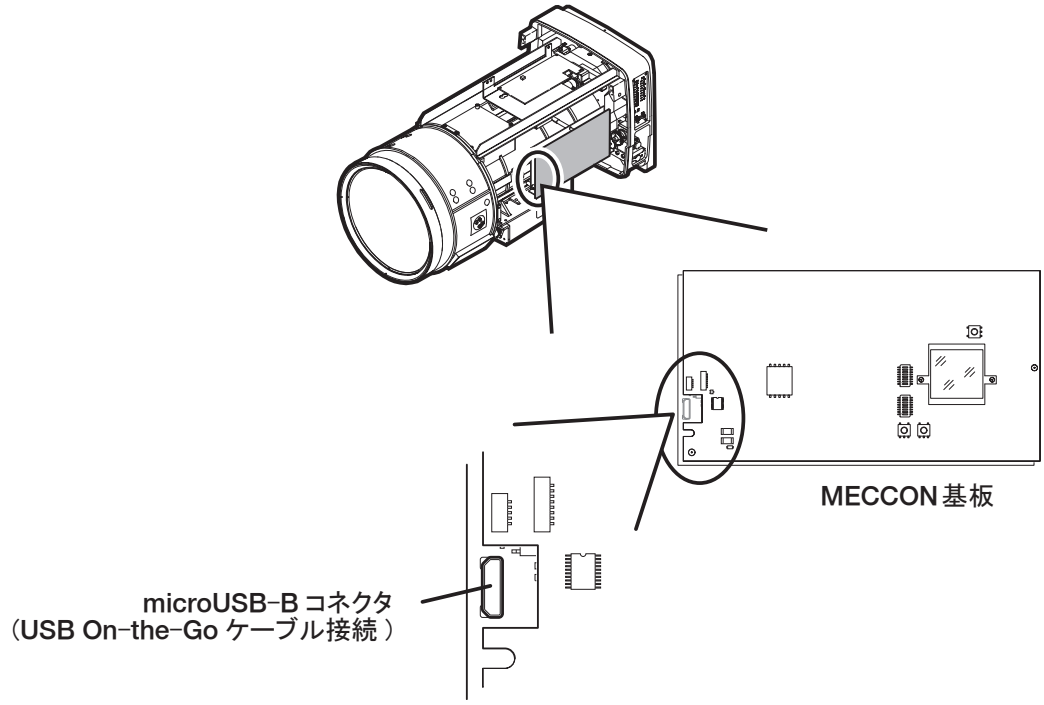
MENU		2/2	
	BF		バックフォーカス操作
	STBI		防振制御スイッチの機能設定
➢	SETTING		設定値操作（保存 / 読み出し）
	OTHERS		その他の機能
	△		前画面（MENU1）に戻る
	⏎		TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

SETボタン押下

⇓ ⇑

SETTING操作画面

SETTING		1/1	
➢	STORE-SETTING	READY	設定 / 調整した値を、外部の USB メモリに保存する
	READ-SETTING	READY	外部の USB メモリから、保存された設定を読み出す
	FACTORY-DEFAULT	READY	設定値をすべて工場出荷時の状態に戻す
	⏎		上位画面（MENU2）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	



5.3.1 設定値・調整値の保存

SETTING操作画面

SETTING		
➢	STORE-SETTING	
	READ-SETTING	
	FACTORY-DEFAULT	
	⏎	
	▽ SELECT	✔ SET

設定 / 調整した値を、外部の USB メモリに保存する
外部の USB メモリから、保存された設定値を読み出す
設定値をすべて工場出荷時の状態に戻す
上位画面（MENU2）に戻る

SETボタン押下

⇓　　⇑

書き込み操作画面

SETTING					
➢	STORE-SETTING				1/1
	READ-SET	➢	START		
	FACTORY-		⏎		
	▽ SELECT				✔ SET

USB メモリへの保存開始
上位画面（SETTING）に戻る

STORE-SETTINGでの動作状態は以下のように表示されます。

START	保存開始
NO-MEM	USB メモリが接続されていない
NO-HOST	USB が HOST モードではない
PROCESSING	アクセス中（保存または読み出し中）

① 本製品のUSBを"HOST"に設定します。
② USBメモリを本製品のUSBコネクタに挿入します。
③ 本製品を再起動します。（5 ページ参照）
　HOSTモードが有効になります。
④ SETTING操作画面で『STORE-SETTING』を選択し、書き込み操作画面に移動します。
⑤ カーソルを『START』に移動させます。
⑥ SETボタンを押下して、保存操作を開始します。
　→ USBメモリへの保存が開始され、状態表示が『PROCESSING』に変わります。
⑦ 書き込み（保存）が終了します。
⑧ 自動的に上位画面（設定値操作画面）に戻ります。

注 1. あらかじめ、FAT32 でフォーマットしたUSBメモリをご用意ください。
注 2. この操作をすると、USBメモリには　FCGxxxx.bin とFSTxxxx.binの、二つのファイルが保存されます。
（ファイル名のxxxxには、USBメモリに保存されたファイルのシリアルナンバーがつけられます。）
安全のため、PCなどにファイルを保存しておいてください。
注 3. HOSTモードでUSBメモリを抜き差ししないでください。
注 4. USBメモリの操作で不具合が生じたときは、販売代理店にご相談ください。

5.3.2 設定値・調整値の読み出し

SETTING操作画面

SETTING		
	STORE-SETTING	
➢	READ-SETTING	
	FACTORY-DEFAULT	
	⏎	
	▽ SELECT	✔ SET

設定 / 調整した値を、外部の USB メモリに保存する
外部の USB メモリから、保存された設定値を読み出す
設定値をすべて工場出荷時の状態に戻す
上位画面 (MENU2) に戻る

SETボタン押下

⇓　　⇑

設定値読み出し操作画面

SETTING					
➢	READ-SETTING				1/1
		➢	START		
			⏎		
	▽ SELECT				✔ SET

USB メモリへのアクセスを起動する
上位画面 (SETTING) に戻る

READ-SETTINGでの動作状態は以下のように表示されます。

START	読み出し開始
NO-MEM	USEB メモリが接続されていない
NO-FILE	USB メモリ内にファイルが存在しない
NO-HOST	USB が HOST モードではない
PROCESSING	アクセス中（保存または読み出し中）

① 本製品のUSBを"HOST"に設定します。
② USBメモリを本製品のUSBコネクタに挿入します。
③ 本製品を再起動します。(5 ページ参照)
　HOSTモードが有効になります。
④ SETTING操作画面で『READ-SETTING』を選択し、読み出し操作画面に移動します。
⑤ カーソルを『START』に移動させます。
⑥ SETボタンを押下して、読み出し操作を開始します。
　→USBメモリからの設定値読み出しが開始され、状態表示が『PROCESSING』に変わります。
⑦ 読み出し（EEPROMへの設定値書き込み）が終了します。
⑧ 自動的に上位画面（設定値操作画面）に戻ります。

注 1. あらかじめ、FAT32 でフォーマットしたUSBメモリに、5.3.1 項の操作で保存したファイルをご用意ください。

注 2. USBメモリには、設定を復元したいファイルのみを置くようにしてください。複数の設定ファイルをUSBメモリに保存していると、望みの設定が復元されない可能性があります。
（USBメモリに複数のファイルがある場合、システムは番号が一番大きいファイルを読み出します。）

注 3. USBメモリからの設定値読み出しを行った場合、読み出し操作が終了した時点で本製品の動作に反映されます。

注 4. HOSTモードでUSBメモリを抜き差ししないでください。

注 5. USBメモリの操作で不具合が生じたときは、販売代理店にご相談ください。

5.3.3 設定値の初期化

SETTING操作画面

SETTING		
	STORE-SETTING	
	READ-SETTING	
➢	FACTORY-DEFAULT	
	⏎	
	▽ SELECT	✔ SET

設定 / 調整した値を、外部の USB メモリに保存する
外部の USB メモリから、保存された設定値を読み出す
設定値をすべて工場出荷時の状態に戻す
上位画面（MENU2）に戻る

SETボタン押下

⇓　　⇑

設定値初期化操作画面

SETTING					
➢	FACTORY-DEFAULT				1/1
		➢	START		
			⏎		
	▽ SELECT				✔ SET

レンズ設定値の初期化操作を起動する
上位画面（SETTING）に戻る

FACTORY-DEFAULTでの動作状態は以下のように表示されます。

PROCESSING	初期化処理中

① SETTING操作画面で『FACTORY-DEFAULT』を選択し、書き込み操作画面に移動します。
② カーソルを『START』に移動させます。
③ SETボタンを押下して、保存操作を開始します。
　→レンズ内部のEEPROMに書かれた設置値を初期状態に戻す処理が開始され、状態表示が『PROCESSING』に変わります。
④ EEPROMの初期化処理が終了すると、自動的に上位画面（設定値操作画面）に戻ります。

注． EEPROMの初期化操作は、操作が終了した直後から、システムの動作に反映されます。

MEMO

5.4 その他の操作（表示機能の設定）

OTHERS 画面では、システムの動作に直接影響しない項目の設定を行います。
本製品では、OTHERSとしてLCDパネルのバックライトおよびタリーランプ（TALLY_LOW）の光量調整を行います。

MENU1 画面（MENU1）

MENU		1/2	
	DIPSW		**DIP スイッチ設定**
	FW-VER		**ファームウエア操作**
	USB		**USB 操作**
	ZOOM		**ズーム操作**
	FOCUS		**フォーカス操作**
	IRIS		**アイリス操作**
	EXTENDER		**エクステンダ操作**
➢	▽		**次画面（MENU2）に進む**
	⏎		**TOP 画面（STS）に戻る**
	▽ SELECT	✔ SET	

SETボタン押下

⇓ ⇑

MENU2 画面（MENU2）

MENU		2/2	
	BF		**バックフォーカス操作**
	SETTING		**設定値操作（保存 / 読み出し）**
➢	OTHERS		**その他の機能**
	△		**前画面（MENU1）に戻る**
	⏎		**TOP 画面（STS）に戻る**
	▽ SELECT	✔ SET	

SETボタン押下

⇓ ⇑

設定値操作画面

OTHERS			
➢	BACKLIGHT	xx	**LCD パネルのバックライトの光量（0 ～ 99）**
	TALLY_LOW	xx	**タリーランプ（TALLY_LOW）の光量（0 ～ 99）**
	⏎		**上位画面（MENU2）に戻る**
	▽ SELECT	✔ SET	

MEMO

5.4.1 バックライト光量の設定

MENU2 画面（MENU2）

MENU		2/2	
	BF		バックフォーカス操作
	SETTING		設定値操作（保存 / 読み出し）
➢	OTHERS		その他の機能
	△		前画面（MENU1）に戻る
	⏎		TOP 画面（STS）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

SETボタン押下

⇓ ⇑

設定値操作画面

OTHERS			
➢	BACKLIGHT	xx	LCD パネルのバックライトの光量（0 ～ 99）
	TALLY_LOW	xx	タリーランプ（TALLY_LOW）の光量（0 ～ 99）
	⏎		上位画面（MENU2）に戻る
	▽ SELECT	✔ SET	

⇓ ⇑

バックライト光量の調整

★ 数値設定画面は、ズーム操作画面の上にかぶさる形で表示されます。

OTHERS					1/1
➢	BACKLIGHT	SET-NUM			
	TALLY_LOW	(A)	+	(B)	+
	⏎		X		Y
		(C)	−	(D)	−
		(E)	UPDATE		
		(F)	⏎		
	▽ SELECT				✔ SET

① OTHERS 操作画面で『BACKLIGHT』を選択して、SETボタン押下→バックライト光量設定画面に入る。
② 操作したい位置にカーソルを移動させる。
（数値設定画面では、カーソルは（A）上位桁″+″→（B）下位桁″+″→（C）上位桁″−″→（D）下位桁″−″→（E）『UPDATE』→（F）『△』→（A）上位桁″+″に，繰り返し移動する）
③ SETボタン押下ごとにカーソルのある桁の数字がインクリメントまたはデクリメントする。
④ 上位桁、下位桁が、ともに所望の数値になったら、カーソルを『UPDATE』に合わせてSETボタンを押下して数値を記憶させる。
⑤ 数値を記憶させたら、カーソルを『△』に合わせてSETボタンを押下し、上位画面（OTHERS）に戻る。
⑥ OTHERS 画面の『BACKLIGHT』項の数値が、選択した光量調整値になっていることを確認する。

注 1. 設定値は、0 が消灯状態、99 が最大光量となります。
注 2. DIP-SW の『BACLLIGHT』が OFF の時は、設定された光量の値にかかわらず、LCD パネルは消灯状態になり、設定値として″0″が表示されます。

5.4.2 タリーランプ光量（TALLY_LOW）の設定

MENU2 画面（MENU2）

MENU		2/2
	BF	
	SETTING	
➢	OTHERS	
	△	
	⏎	
	▽ SELECT	✔ SET

バックフォーカス操作
設定値操作（保存 / 読み出し）
その他の機能
前画面（MENU1）に戻る
TOP 画面（STS）に戻る

SETボタン押下

⇓　　⇑

設定値操作画面

OTHERS		
	BACKLIGHT	xx
➢	TALLY_LOW	xx
	⏎	
	▽ SELECT	✔ SET

LCD パネルのバックライトの光量（0 ～ 99）
タリーランプ（TALLY_LOW）の光量（0 ～ 99）
上位画面（MENU2）に戻る

⇓　　⇑

タリーランプ光量（TALLY_LOW）の調整

★数値設定画面は、ズーム操作画面の上にかぶさる形で表示されます。

OTHERS					1/1
	BACKLIGHT	SET-NUM			
➢	TALLY_LOW	(A)	+	(B)	+
	⏎		X		Y
		(C)	−	(D)	−
		(E)	UPDATE		
		(F)	⏎		
	▽ SELECT				✔ SET

① OTHERS 操作画面で『TALLY_LOW』を選択して、SETボタン押下→タリーランプ光量設定画面に入る。
② 操作したい位置にカーソルを移動させる。
（数値設定画面では、カーソルは（A）上位桁″+″→（B）下位桁″+″→（C）上位桁″−″→（D）下位桁″−″→（E）『UPDATE』→（F）『△』→（A）上位桁″+″に，繰り返し移動する）
③ SETボタン押下ごとにカーソルのある桁の数字がインクリメントまたはデクリメントする。
④ 上位桁、下位桁とのみ所望の数値になったら、カーソルを『UPDATE』に合わせてSETボタンを押下して数値を記憶させる。
⑤ 数値を記憶させたら、カーソルを『△』に合わせてSETボタンを押下し、上位画面（OTHERS）に戻る。
⑥ OTHERS 画面の『TALLY_LOW』項の数値が、選択した光量調整値になっていることを確認する。

注 1. 設定値は、99 が最大光量、0 が最小光量となります。
注 2. DIP-SW の『TALLY-ADJUST』が OFF の時は、設定された光量の値にかかわらず、工場出荷時の初期設定値での光量設定となります。
注 3.『TALLY_LOW』の設定値は、レンズ本体の「TALLY HI / LOW / OFF スイッチ」の切り替え操作をしたときに有効になります。本項の設定値を変えるときは、一度レンズ本体の「TALLY HI / LOW / OFF スイッチ」を OFF にしてください。

6 基板上のDIPスイッチ

システム基板上のDIPスイッチ（SW3150、SW3151）のそれぞれのビットスイッチの機能を記します。
基板上のDIPスイッチがONになっているビットは、LCDパネルでON/OFFを設定することができます。
（基板上のDIPスイッチがOFFになっているビット/スイッチは、LCDパネルではOFF固定として扱われます。）

SW3151

スイッチ番号	機能名称	工場出荷時の設定	機能名称	説明
1	CAM[1]	OFF	カメラメーカー設定	CAM[2:1] の設定で、レンズに接続するカメラのメーカー（通信プロトコル）を規定します。 設定：[OFF,OFF]=SONY,[OFF,ON]=Panasonic, [ON,OFF]=GrassValley,[ON,ON]=Hitachi/Ikegami ※ HZK シリーズのレンズは工場出荷状態のままにしてください。
2	CAM[2]	OFF		
3	RESERVE 0-3	OFF	予約	工場出荷状態のままにしてください。
4	RESERVE 0-4	OFF		
5	RESERVE 0-5	OFF		
6	RESERVE 0-6	OFF		
7	TALLY-ADJUST	OFF	タリー光量調整 ON/OFF	タリーランプ（TALLY_LOW）の光量を設定します。 ON ＝ LCD パネルで設定された光量でタリーランプ（LOW）が点灯します。 OFF ＝タリーランプ（LOW）は、工場出荷時に設定された光量で点灯します。
8	BACKLIGHT	OFF	LCD バックライト調整 ON/OFF	LCD パネルのバックライトの光量を設定します。 ON ＝ LCD パネルで設定された光量でバックライトが点灯します。 OFF ＝ LCD バックライトは消灯します。

SW3150

スイッチ番号	名称	工場出荷時の設定	機能	説明
1	CAMERA-SR	ON	カメラシリアル通信 ON/OFF	カメラとのシリアル通信を許可 / 禁止します。 ON = シリアル通信有効 OFF= シリアル通信禁止
2	BCT	ON	画角補正 ON/OFF	フォーカス操作による画角の変動を補正します。 （BCT：Breathing Compensation Technology） ON = 画角補正あり OFF= 画角補正なし
3	IRIS-GAINUP	ON	オートアイリス ゲインアップ ON/OFF	オートアイリス時のアイリスのフィードバックゲインを切り替えます。 ON =1/8 OFF=1/16
4	IRIS-COMP	ON	アイリス補正 ON/OFF	エクステンダ使用 / 不使用で透過光量が変動する現象を補正します。 ON = 補正する OFF= 補正しない
5	IRIS-CLOSE	ON	アイリス 強制クローズ ON/OFF	カメラまたは外部機器でクローズ制御する時の特性を設定します。 ON = アイリス制御信号が閾値を超えると強制的にクローズする OFF= カメラからのアイリス制御に従う
6	RESERVE 1-6	ON	予約	工場出荷状態のままにしてください。
7	Z/F-CUSTOM	ON	カスタマイズ機能 ON/OFF	ズーム、フォーカスの動作特性カーブおよび停止速度をユーザー設定とするか初期値固定で使用するかを選択します。 ON = カスタマイズ機能を使用する。 OFF= ズーム / フォーカスは初期値特性で使用する。 （ズームとフォーカスの設定は、LCD パネルの操作で個別に ON/OFF できます）
8	RESERVE 1-8	ON	予約	工場出荷状態のままにしてください。

注 1. それぞれのスイッチの機能をLCDパネル操作で行う場合は、該当する基板上の個別スイッチをONにしてください。DIPスイッチがOFFになっていると、LCDパネルでの操作はOFF固定（OFF優先）になります。

注 2. DIPスイッチがONになっていても、LCDパネル操作でOFFが設定されている機能は"OFF"が設定されたものとして動作します。

FUJIFILM

富士フイルム株式会社　〒107-0052　東京都港区赤坂 9-7-3
http://fujifilm.jp/

FUJIFILM Corporation　7-3, Akasaka 9-Chome, Minato-ku, Tokyo　107-0052, Japan
http://www.fujifilm.com/

富士胶片株式会社　107-0052 日本东京都港区赤坂 9-7-3
http://www.fujifilm.com.cn/